

身だしなみ

1. 身だしなみの基本

身だしなみは『（ ）』

「この人はこんな人」というイメージを決めるもの。

自分やサロンがお客さまから（ ）は、身だしなみで決まる。

身だしなみの基本

◆（ ）であること

- ✓ 本当に清潔であることは、見た目にも清潔であること
- ✓ 相手に不快感を与えない（=信頼・配慮）

◆（ ）であること

- ✓ TPOをわきまえる

◆（ ）であること

- ✓ 派手過ぎない（お客様が1番）



同じ服でも着方によって印象は異なる。
より多くのお客様にとって好印象なのはどちらか？

2. 身だしなみを整える上で重要なこと

同じ服装でも、（ ）
「あなたのイメージ」は違ってくる



《Aさんの印象》

とても好みのセンス。
私もこのような
スタイルにしてほしい。

《Bさんの印象》

浮ついた感じで
落ち着かない。
緊張してしまいそう。

大切なのは店の方針に従うこと

◆制服がある場合がある

- ✓ （ ）であることが重要。（＝統一の美）
そのための制服なので、（ ）や（ ）は変えない。
- ✓ エプロンだけ、シャツだけ、など（ ）が制服という場合もある。

◆私服でも服装や髪形にルールがある場合がある

- ✓ 私服で就業できるが、（ ）や（ ）に決まりがある場合がある。

例) トップスは白またはベージュ、ボトムスは黒、ともに無地のもの。

例) トップスは自由だが、ボトムスはパンツスタイルとする。

例) 長い髪はアレンジし、顔にかからないようにする。 など

3. センスの良い服装とは

服の値段は装いの美しさに比例しない

リーズナブルに揃える

- ✓ () = 美しい身だしなみではない。
- ✓ 着回しできる数を揃えることができるよう、1着にお金をかけすぎない。

洋服選択の視点

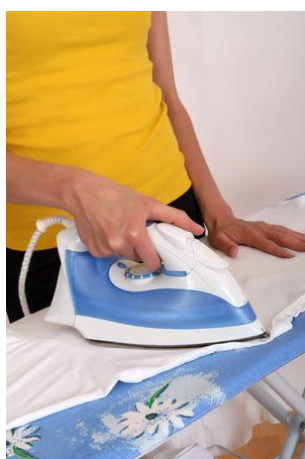
- ✓ 価格やデザインだけでなく、() に合った () のものを選ぶ。
- ✓ 手入れしやすい素材のものを選ぶ。

センス良く着こなすために

- ✓ 服の ()、()、()、() 次第で、センス良く見せることができる。
- ✓ よく手入れし、整った着こなしをする。



洗濯表示を守る



しわを伸ばす



詰め込みすぎない

3. 若年・OL層向け店での身だしなみ

想定されるお客様

- 美容室で働いているのだから、スタッフはファッションセンスが良いはず。
- 美容師のおしゃれは、見本・参考にしたい。
- センスのいい美容室に通うこと自体が楽しみ。

髪の手入れやヘアスタイルはよく研究する

- ✓ 流行のスタイルを研究し、（ ）ように取り入れる。
- ✓ 髪が（ ）に見えるスタイリングを心がける。

雰囲気壊していないか注意する

- ✓ カジュアルな雰囲気のサロンや、服装のルールがないサロンでも、（ ）は避ける。
- ✓ デザイン性の高い服は、危険でないか確認する。



奇抜なもの、挑発的なものなど、主張が強いものは避ける。



袖が広がっているものや、長すぎるものは危険。

4. 中高年層向け店での身だしなみ

想定されるお客様

- 時間やお金の使い道は、美容だけでない。
- リラックスしたいので、親しげな雰囲気であってほしい。

シンプルな着こなしで

- ✓ 年ごとの（ ）に左右されない、シンプルなデザインのものを用いる。
- ✓ 小物使いなど、（ ）に頼らず（ ）できそうなおしゃれをする。



自然なメイク

- ✓ だらしない印象にならないよう、（ ）は（ ）行う。
- ✓ 厚化粧にならないよう自然なメイクを心がける。

5. 高級店での身だしなみ

想定されるお客様

- 自分が特別な存在になれる時間・空間を求める。
- サロン・スタッフ共に落ち着いた雰囲気の中で過ごしたい。

礼儀正しさを表現する身だしなみ

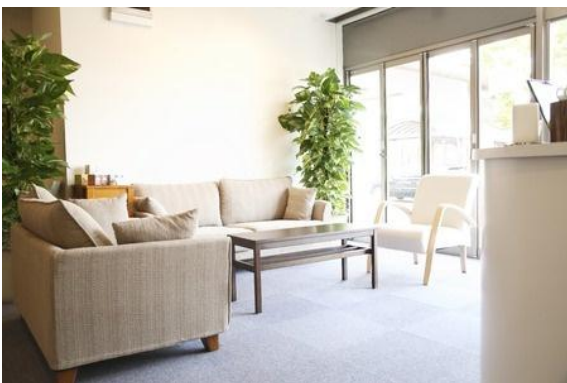
- ✓ お客様は、スタッフ教育の行き届いたサロンだという前提で来店する。
- ✓ () な印象を与える身だしなみを心がける。

派手にならないシンプルな服装

- ✓ 色や柄に注意し、() をする。
- ✓ () が際立つよう、アクセサリーなどは付けない、または目立たないようにする。

自然なメイク

- ✓ 基本的には中高年層向け店同様、() をする。
- ✓ 服装に合わせ、アイシャドウやチークの色も控えめにする。



落ち着いた雰囲気のリゾートでは雰囲気合った身だしなみが必要

